

令和5年度坂月小学校 学校経営方針

坂月小の基本理念

「少人数の良さを生かし、一人一人が活躍できる場のある教育の推進」

千葉市の教育施策

現代社会の要請

地域の要望

児童の実態

保護者の願い

坂月小学校の学校教育目標

「自らの可能性をみがき 心豊かにたくましく生きる子」

～坂月っ子は 一人一人が主人公～

めざす子供像

【知】

よく考え進んで学習する子

- 話をよく聞き、考えを表現できる
- 進んで読書をする
- 進んで家庭学習に取り組む
- SDGsに取り組む

学力向上アクションプランの推進

- 指導と評価の一体化

個に応じた指導の充実

- 基礎基本の定着
- 思考力・判断力・表現力の育成
- 一斉指導と個別指導のバランス

【徳】

心豊かで思いやりのある子

- 挨拶ができる
- 友達の気持ちがわかる
- 自分や周りの良さを認められる
- 礼儀正しい行動をする

道徳教育の充実

- 話し合いや実践を大切にされた道徳

特別活動の充実

- 異年齢集団交流の推進

教育相談・特別支援教育の充実

- 全教職員の共通理解と真摯な対応

【体】

心身ともに健康でたくましい子

- よく食べて、元気に外遊びをする
- けがを防ぐ生活を心がける
- 挑戦する気持ちをもつ
- 悩みを自分から相談できる

健康の増進

- 食育の充実・感染症予防

体力の向上

- 教科体育の充実
- 体力づくり活動の推進

心の健康の推進

- アンケートの充実
- OSCの活用と連携

坂月小学校の特色

特色ある教育課程の推進

- ・個に応じた指導の充実
- ・地域を生かした体験活動の充実

校内研修の充実

- ・学び合う教師集団
- ・資質や力量の向上

学年・学級経営の充実

- ・個々のよさを伸ばす指導
- ・児童の自己有用感の向上
- ・児童の心の醸成
- ・豊かな自然環境・人的環境
- ・自然体験活動
- ・地域との連携の充実
- ・ゲストティーチャーの活用

健康教育の推進

- ・望ましい生活習慣の確立
- ・感染症予防の徹底
- ・交通安全教育の充実
- ・防災・防犯教育の充実

令和5年度学校経営方針について

1 学校教育目標

【学校経営の基本理念】

少人数の良さ生かし、一人一人の活躍の場がある学級・学校を目指す。

令和5年度、坂月小は児童数111名。3年間で1.5倍近くとなり、6年前と比べると2倍以上に増加した。更に今年度特別支援学級（自閉・情緒）が開設となり、学級数も増えた。児童数が増加している現在ではあるが、一人一人の活躍の場をもたせるための、教職員の心構えとして引き続き掲げていく。

学校教育目標

自らの可能性をみがき 心豊かに たくましく生きる子

～ 坂月っ子は 一人一人が 主人公 ～

《具体目標》

- よく考え進んで学習する子 (知 育)
- 心豊かで思いやりのある子 (徳 育)
- 心身ともに健康でたくましい子 (体 育)

《子供像》 [こんな子供に]

よく考え進んで学習する子	心豊かで思いやりのある子	心身ともに健康でたくましい子
<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の基礎的・基本的な知識や技能をもとに、自分の考えを表現できる子 ・読書に親しんだり情報を上手に生かしたりして、課題についてよく考え、解決する子 ・学び方を身に付け、家庭学習に進んで取り組む子 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のよさを見つけ、前向きに挑戦しようとする向上心をもって取り組む子 ・人の気持ちが想像でき、協調や感謝の心をもって、人と接することのできる子 ・しっかりと挨拶ができ、人や自然を愛する情操豊かな子 	<ul style="list-style-type: none"> ・外で元気に遊んだり、安全に留意したりして活動したりすることができる子 ・好き嫌いなく食べるようにし、手洗いを励行し健康に気を付けて過ごす子 ・悩みを自分から相談し、心の健康を意識する子

《学校像》 [こんな学校に]

- 楽しい学校
 - ・自分の良さが認められる場があり、みんなが仲良く協力し合っている
 - ・学習がよく分かり、自分の力や自分らしさが発揮できる
- きれいな学校
 - ・教育環境が整備され、掃除が行き届いている
 - ・自然を大切にし、花が咲いている
- 開かれた学校
 - ・保護者・地域社会と協働し子供を育てる
 - ・地域との連携や交流を深める

《教職員像》 [こんな教師に]

- 子供一人一人に寄り添い、個性を理解し、良さを見つけて伸ばせる教師
- 豊かな人間性をもち、子供・保護者・地域・同僚から信頼される教師・傾聴・親身・実践
- わかる授業に努め、楽しい学級・学校づくりへの参画意識が高く、向上心をもつ教師
- 危機管理意識を高く持って、真摯に職務を遂行する教師
- 仲間を助け協働する教師

2 教育目標具現化への手立て

- (1) 「よく考え進んで学習する子」を育てる（生きる力の基礎となる確かな学力を身につけた子を育てる。）
 - 学力向上アクションプランの推進
 - ・指導と評価の一体化を意識した取組
 - ・子供の学び方の習得を目指し、研修を通して、学習の進め方やノート指導の共通理解を図る。
 - ・友達との比較の場等で、友達の考えを認め、自らの考えを深めるようにする。
 - ・各教科の指導やハッスルタイムの充実等により、基礎的な知識・技能の育成を図る。
 - ・主体的に向かう力を伸ばすため、普段から考えを書く活動や振り返りの活動を取り入れる。
 - 個に応じた指導の充実
 - ・基礎・基本の徹底（主体的に学ぶための基礎学力を高める。）
 - ・ドリル学習やチャレンジタイムの充実、音読の推進等を通して、学習の習慣化を図る。
 - 読書活動を推進し、読書する習慣を育てる。
 - ・図書館指導員活用の充実を図り、図書館指導を推進する。
 - 家庭学習の習慣化
 - ・家庭学習の手引きをもとに、家庭の理解を得て協力して行う。
 - ・自ら進んで、継続的な学習ができるようにする。（ドリルは基本的に学校で活用）
 - 近接学年での交流（合同）授業として、体育科や生活科・総合的な学習の時間・校外学習等で、グループ活動や見合う学習の場をつくる。
- (2) 「心豊かで思いやりのある子」を育てる（温かく、人のために働く心と実践力をもたせる）
 - 道徳教育・生徒指導・特別活動の充実
 - ・考える道徳の推進と特別の教科道徳の指導法を工夫する。
 - ・SDGsを念頭に置き、身近な環境に目を向ける心と実践力を育てる。
 - 特別活動の充実
 - ・なかよし班による異学年交流活動（運動会の競技、班ごとの遊び、清掃等）を工夫する。
 - ・保育所の年長園児と1・2年生児童の交流活動を行う。
 - 生徒指導・教育相談・特別支援教育の充実
 - ・特別支援学級と通常学級の交流を大切にする。
 - ・日常生活を豊かに過ごすための基本的な生活習慣の定着を図る。
 - ・いじめアンケート年2回の実施及び毎月の悩みアンケートを通して、子供の実態把握を図る。
 - ・ネット社会におけるモラル教育や、命を守る教育（救急救命法）の実践等の推進を図る。
 - ・特別支援対策委員会、いじめ問題対策委員会等の校内委員会を適宜開催する。
 - ・職員会議後の報告によって、全職員の共通理解を図る。
- (3) 「心身ともに健康でたくましい子」を育てる（困難にくじけず、最後までやり通す力をもたせる）
 - 健康の増進
 - ・体力づくりの日常化（日常化のための年間計画の作成）を図る。
 - ・健康安全への自己管理能力の育成。手洗いの励行による感染症等の予防を推進する。
 - ・給食指導等による食育を通して健康な体づくりを進める。
 - 体力の向上
 - ・教科体育の充実により、体力や技能の向上を図る。（めあてを明確にしたカード等の活用）
 - ・鉄棒、縄跳び等、ハッスルタイムや休み時間の運動を行い、体力づくりの日常化を図る。
 - ・特設運動部活動の充実（陸上大会、球技大会に向けての重点的な練習）
 - 心の健康の推進
 - ・目標を持って頑張る心や、最後までやり通す心を育てる。
 - ・SCや家庭と連携して心の健康を推進し、自分から相談できる雰囲気大切に作る。
 - ・「生命（いのち）の安全教育」を通して、全ての子供の生命はかけがえのないものでありどの子供も大切であることを伝えることで、自分が大切な人であるという心情を育てる。
- (4) 本校らしさを生かしながらめざす子ども像に向け子どもを育てる（(1) (2) (3) 以外）
 - 「一人一人が主人公」をモットーに、活躍できる場をつくり学校生活の充実を図る。
 - 地域の特色を生かした学習の充実（茶摘み・坂月っ湖・学校園の活用等）
 - 学校支援地域本部を活用し、地域の人々や学習支援ボランティアの方々等との交流の機会をもつ。
 - 安全指導の充実
 - ・セーフティウォッチャーとの連携を図る。
 - ・上学年をリーダーに集団登校を行い、正しく安全な道路の歩き方や集団での行動などを学ぶ。

3 教育目標具現化のための基本的考え方

- (1) 学年（学級）経営の充実
 - 学校教育目標を達成するため、子供の発達段階・実態に即して経営計画及び指導目標を立て、実践する。
 - 子供一人一人が**自己の存在感を意識し、自己有用感をもって生き生きと活動できる**集団づくり・活動計画に努める。
 - 職員と子供相互の人的なふれあいを通して信頼関係を深め、心の通い合う集団づくりに努める。
 - 教職員全体の共通理解のもとに、近接学年との連携を重視した学年経営を行う。
- (2) 学習指導の充実
 - 教師の力量向上、わかる授業の実現を図るため、**校内研究を深め、学習指導の充実に生かす。**
 - **学習規律を確立し、見通しをもって意欲的に学ぶことのできる授業を目指す。**
 - **普段から、読む力・書く力・聞く力・話す力を付けるよう**心掛ける。
 - 子供の**実態把握を確実に**行い、学力向上アクションプランのもとに、PDCA サイクルを生かした「わかる授業」を推進するとともに、指導と評価の一体化を図る。
 - 「何が身に付くか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「子供一人一人をどのように支援するか」を整理し、学習指導の工夫に努め、カリキュラム・マネジメントの実現を図る。
 - 知識及び技能と思考力・判断力・表現力等をバランスよく育成し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進する。
 - **子供個々の能力・特性を把握し、一人一人が課題をもち、自ら考え、主体的に解決できる指導・支援を行う。**また、子供の能力に応じて具体的に指示しやり遂げさせるなど達成感をもたせるよう工夫する。
- (3) 道徳教育・特別活動の充実
 - **失敗や困難にくじけず、自己肯定感を高め挑戦する気持ちをもてるよう、**子供一人一人の活躍の場をもたせるための活動の工夫を行う。
 - 特別の教科 道徳の授業の充実を図り、**道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度**を育てる。
 - 集団生活を通して、個性の伸長を図り、子供の自発的・主体的な態度を育てる。
- (4) 健康・安全教育の充実
 - 子供に健康な生活を意識させ、**望ましい生活習慣を養うための実践指導**に努める。
 - 教科体育の充実と体力づくりの日常化に努め、**体力・運動能力の向上**を図る。
 - 防災・防犯訓練の充実を図る。
 - 施設設備の安全対策や防災・防犯対策、交通安全対策などを通して、**安全教育の徹底**を図る。
- (5) 生徒指導・教育相談の充実
 - 「坂月小みんなのやくそく」を上学年児童と共に見直し、全職員の共通理解のもと全職員により基本的な生活習慣の定着を図る。
 - **年2回のいじめアンケート時に「教育相談週間」を設定し、子供全員と面談を行うことで実態把握・早期解決に努める。**
 - **特別活動等を通して全職員で児童理解を深め、望ましい人間関係の育成に努める。**
- (6) 教育環境の充実
 - 学習や生活に役立つ環境づくりを意図的に進める。（学習意欲を喚起する環境・生きて働く掲示物）
 - **時節にあった作品の掲示等、子供の継続的な活動が見え、満足感を味わえる環境づくり**に努める。
 - 年間の見通しを持った計画的な学年園・学校園づくりを進め、子供たちの自然と触れ合う意欲を喚起する。
- (7) 校内研修・研究の充実
 - カリキュラムマネジメントに基づいた校内研究計画に則って研究を進める。
 - **学習指導要領に基づいた学習指導及び評価の充実**を図るために必要な研修を進める。
 - 専門職としての資質や力量を磨き、指導力の向上に努め、**学びあう教師集団**をつくる。
- (8) 家庭・地域との連携～報・連・相・報（ハウレンソウ（ハウ））の確実な実施による未然防止～
 - 学校・学年の教育的諸活動についての広報活動の充実を図り、協力・協働的な体制の確立を図る。学校便り・学年便り・保健便り・給食便り・図書室便り等の発行を通して、学校の様子を知らせる。
 - 学校評議員や地域の役員、セーフティウォッチャー等との連携を図る。
 - P T Aとの連携を図り、保護者と話し合う機会を計画的に設け、学校と家庭・地域のそれぞれの機能の向上を図る。
 - 学習参観・懇談会・個人面談・教育相談等を充実し、家庭との連携を図る。
 - **トラブルや事故等については、すぐに管理職に連絡し、その日のうちに保護者に連絡し、解決を図**
- (9) 環境に配慮した生活を意識させる学習の実践
 - 児童が世界の中に生きる一員として、SDGsなどに配慮し、環境保全に配慮した望ましい態度を身に付けられるよう様々な場面でできることに努める。